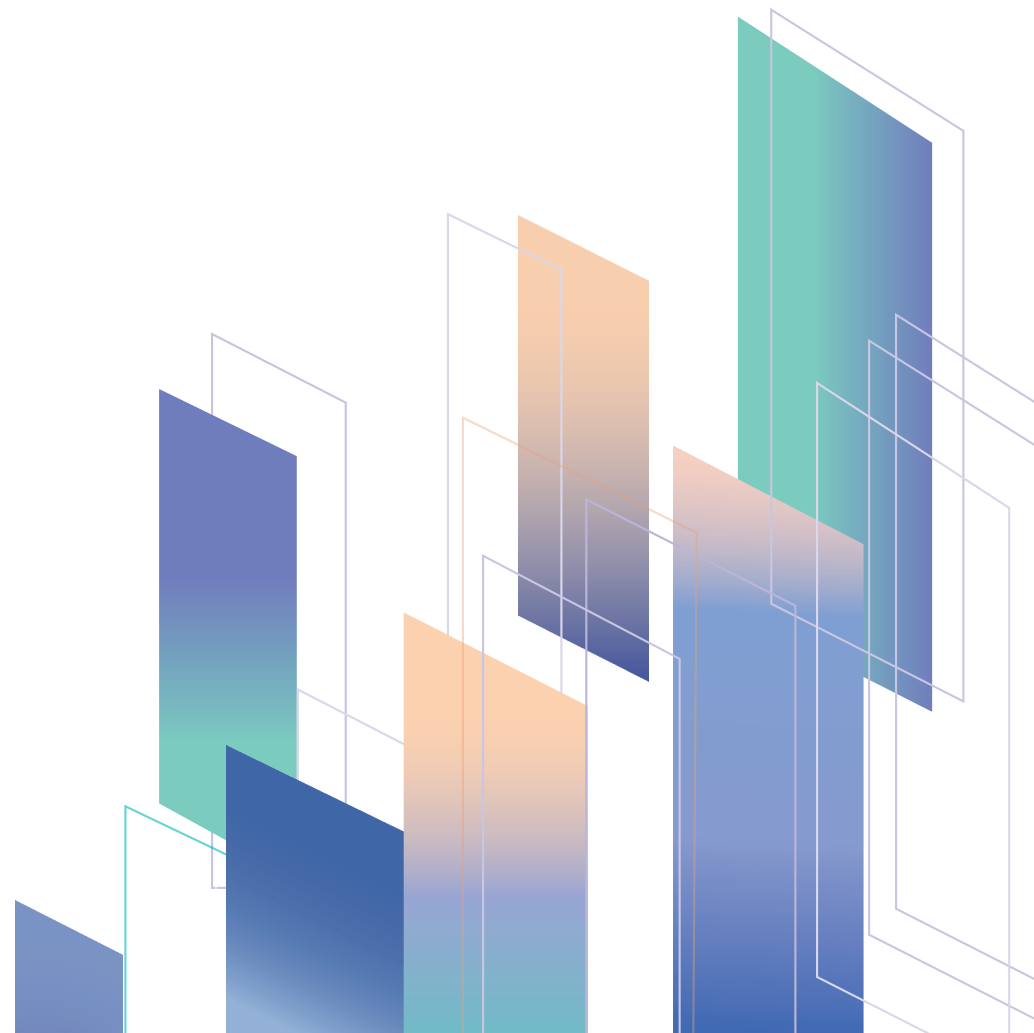
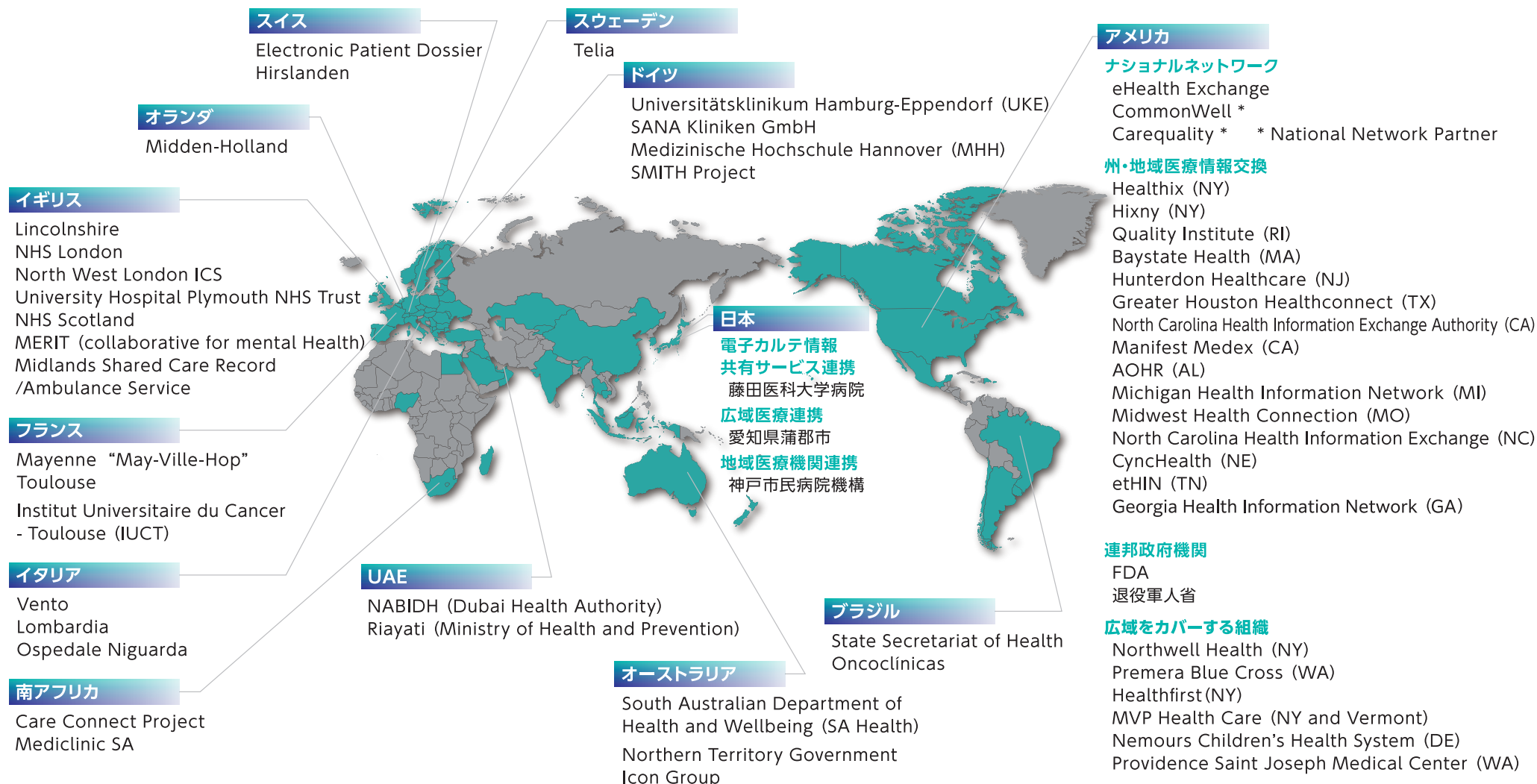


インターシステムズ製品と医療向けソリューション

AIは、データ戦略から。ー医療データ基盤が、AI活用の成否を決めるー



InterSystemsが支える グローバルでの広域医療連携ネットワーク



InterSystemsのヘルスケアAIビジョン

信頼できる医療データに基づく、責任あるAI活用

医療AIの真価は「データの質」で決まります。
安全で実用的な医療AIを具現化する、InterSystemsのアプローチ。



信頼できる医療データに基づくAI

長期にわたる患者データを統合・標準化し、
患者の全体像に基づくAI活用と意思決定支援を実現



見える・追えるAI

データからAIの出力までを追跡可能にし、
説明責任を果たせる安心感のあるAI活用を実現



医療現場で使い続けられるAI

役割ベースのアクセス制御と継続的なモニタリングにより、
臨床・業務ワークフローへ安全に組み込み

HealthShare AI Assistant

数千の医療データソースを横断し、対話を通じて複雑な診療記録を
瞬時に 要約・ナビゲート / 診療効率向上、認知的負担の軽減を実現します。

Navigation | AI Assistant

Assistant

過去3年間(2024/6/12~2026/6/11)の検査結果をカテゴリごとに、
最新順でまとめます。

■血液・一般検査(術前スクリーニング・炎症評価)

・2026/6/10

・白血球数(WBC): 12,500/μL (↑ 高値) ・CRP: 8.5 mg/dL (↑ 高値)

・AST: 44 U/L ・ALT: 38 U/L ・INR(PT): 1.6 ・クレアチニン: 0.9 mg/dL

■診断: 胆嚢の結石を伴う急性および慢性胆嚢炎(閉塞なし)



You

過去3年間の

検査結果を

カテゴリごとに教えて

プロンプト管理

監査ログ

ソース追跡性

アクセス制御

ローカル LLM / OpenAI API 両対応

InterSystems AI Hub

ROADMAP ITEM

AIインフラの複雑さを排除。AIアプリケーションとエージェントの一貫したセキュリティ、
ガバナンス、モニタリングのもと、課題解決に直結するAI開発を加速させます。

InterSystems AI Hub

Claude Desktop

VS Code

LangGraph

外部エージェント

MCP
ゲートウェイ

FHIR
エージェント

相互運用性
エージェント

SQL
エージェント

RAG
ツール

SysOps
エージェント

Custom
エージェント

ネイティブRAG | RBAC | Wallet | モニタリング

Open AI

AWS Bedrock

Local LLM

MCP Server

ネイティブAIエージェント開発



直感的なSDKを活用し、データの近くで
高度なAIエージェントを構築

外部AIエージェントによるIRISの活用



OAuthとMCPを活用し、IRISのビジネス
ロジックとデータをセキュアに公開

DEMO – InterSystems IRISで実現する 医療向けエージェントックAI

信頼できる医療データを統合するIRISを基盤にクラウド/ローカルLLM × MCPによる医療向けAgentic AI
を構成。AIが最適なToolを選択し根拠に基づくデータ横断検索と高度な応答を自律的に行います。



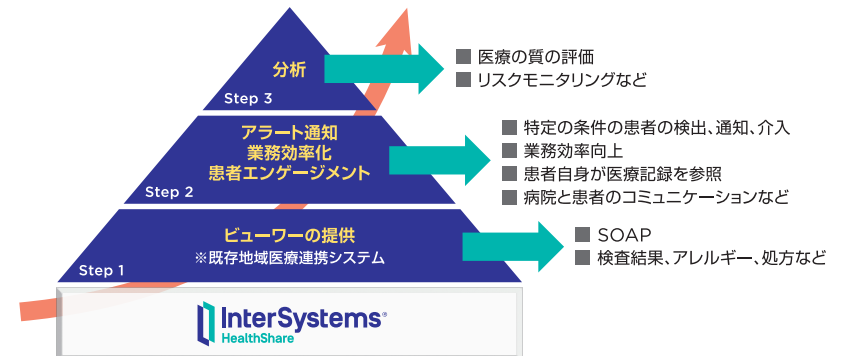
InterSystems HealthShare®

広域 / 多業種 EHR (Electronic Health Record) 連携・利活用ソリューション

これまでの EHR 連携 / 利活用基盤 (Before)



これから求められる EHR 連携 / 利活用基盤 (After)



医療用サービス基盤・アプリケーション開発プラットフォーム「IRIS for Health™」のテクノロジーを最大限に生かした広域 / 多業種での多目的な EHR 利活用ニーズに対応する InterSystems HealthShare®



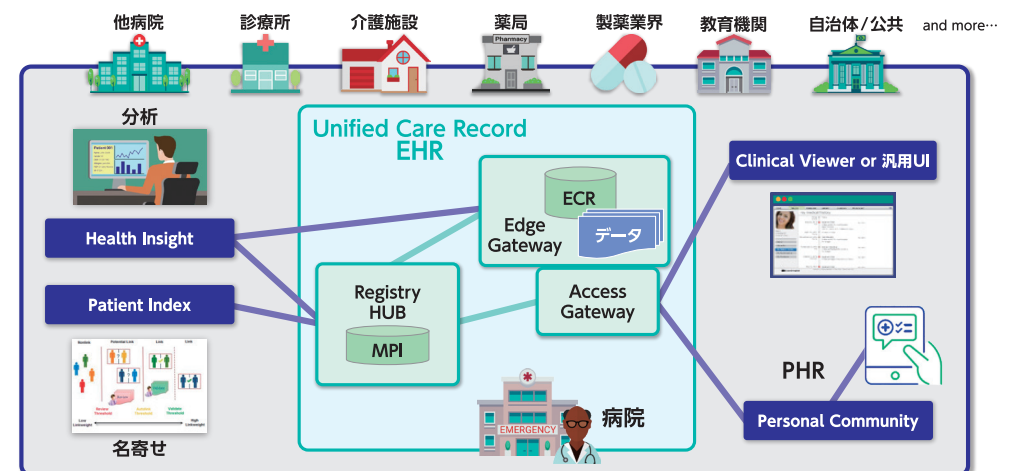
HealthShare ソリューションラインナップ



Unified Care Record を基本モジュールとし
様々なデータ連携 / 利活用機能を提供

HealthShare パッケージソリューション関連図

→ 広域 / 様々な業種にて医療機関の EHR 共有 / 連携 / 介入 / 分析 / 他各種利活用を実現





InterSystems IRIS for Health™



医療用 サービス基盤・アプリケーション開発プラットフォーム

高速マルチモデルデータベース機能

REST・SQL・Key Value対応

ヘルスケア分野で長期間にわたり成功している理由

- ✓ 堅牢性 (止まらない)
- ✓ 経年劣化しない
- ✓ 拡張性 (スケールアップ / アウト)
- ✓ データベースの構造変化に対応する柔軟さ
- ✓ パフォーマンスの約束
- ✓ 長期間データの格納と高速検索

サンプル構文	<code>^emp(15,"name")="yamada"</code>	<code>emp.Name="yamada"</code>	<code>select name from emp where id=15</code>	<code>Emp= {"empid": 15, "Name": "yamada"}</code>
開発言語/API	ObjectScript/Python/ Node.js/Java/.NET	Java/.NET	xDBC	REST
マルチモデル データベース	キーバリュ	オブジェクト インターフェース	リレーショナル インターフェース カラムストレージ	ドキュメント インターフェース
			ストレージ定義	
			データ基盤	

インターオペラビリティ (相互運用性) システム・データ連携機能

I/Fサーバーやゲートウェイとして活用可能

豊富なアダプタ

HL7 FHIR
HL7
DICOM
ASTM
XML
JSON
REST
Webサービス
TCP
Java
.NET
C & C#

データ変換



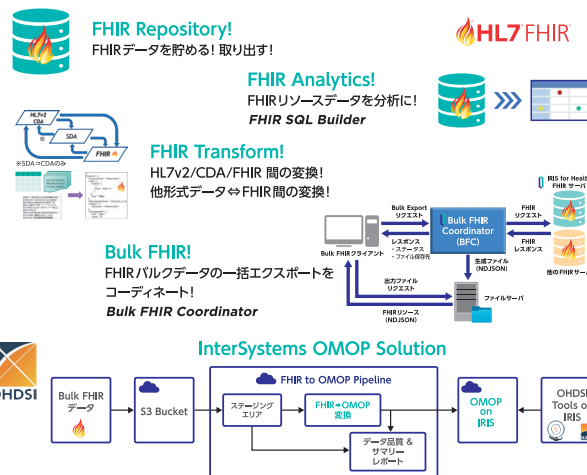
- 受け取ったデータを変換
例) 0.1 → 男, 女 コードの変換
- 異なるI/F仕様間の連携実現
例) XML → JSON
HL7やCSV → FHIR
- 異なる通信方式の連携の実現
例) Socket → テキスト
REST → DBに書き込み

トレーサビリティ

連携データの自動蓄積と可視化



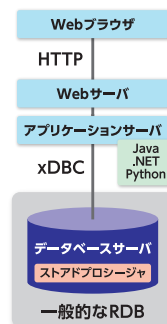
FHIR / OMOP 関連機能



Python対応

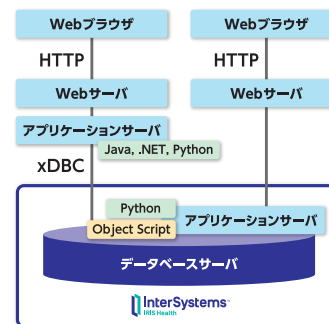
Pythonライブラリの活用により
MLやAIへの対応を加速

RESTアプリの一般的なアーキテクチャ

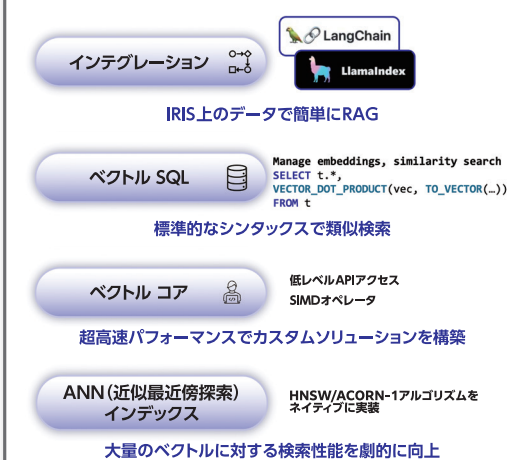


- シンプルな構成
- 容易に
スケーラビリティを
確保
- オブジェクトを
自然な形で保存

IRIS for Healthのアーキテクチャ



ベクトル検索



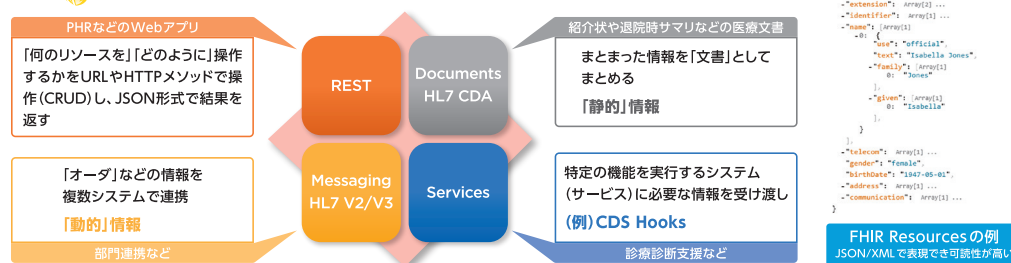
グローバル標準 FHIR × OMOP CDMで広がる 医療データの価値



■ HL7® FHIR® とは Fast Healthcare Interoperability Resources

Web サービス技術を使用して、可読性が高く取扱い易い形式のデータの集合(リソース)をやり取りする、
短期間で実装可能な医療情報交換標準規格

FHIRの相互運用性：4つのパラダイム＝交換方法の類型



```
{
  "resourceType": "Patient",
  "id": "123",
  "meta": {
    "versionId": "1",
    "lastUpdated": "2017-07-30T21:50:11Z"
  },
  "extension": [ ... ],
  "identifier": [ ... ],
  "name": [ ... ],
  "telecom": [ ... ],
  "gender": "female",
  "birthdate": "1947-09-01",
  "address": [ ... ],
  "communication": [ ... ],
  "given": [ ... ],
  "family": [ ... ]
}
```

FHIR Resourcesの例
JSON/XMLで表現でき可読性が高い

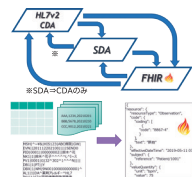
■ InterSystems FHIR® サポート



FHIR Repository!
FHIRデータを貯める! 取り出す!

FHIR Programming!

FHIRリクエストを投げる!
FHIRメッセージを組み立てる!
FHIRデータ (JSON) をオブジェクトで操作!



FHIR Transform!

HL7V2/CDA/FHIR間の変換!
他形式データ⇔FHIR間の変換!

FHIR Analytics!

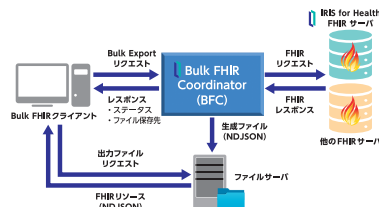
FHIRリソースデータを分析に!
FHIR SQL Builder



Bulk FHIR!

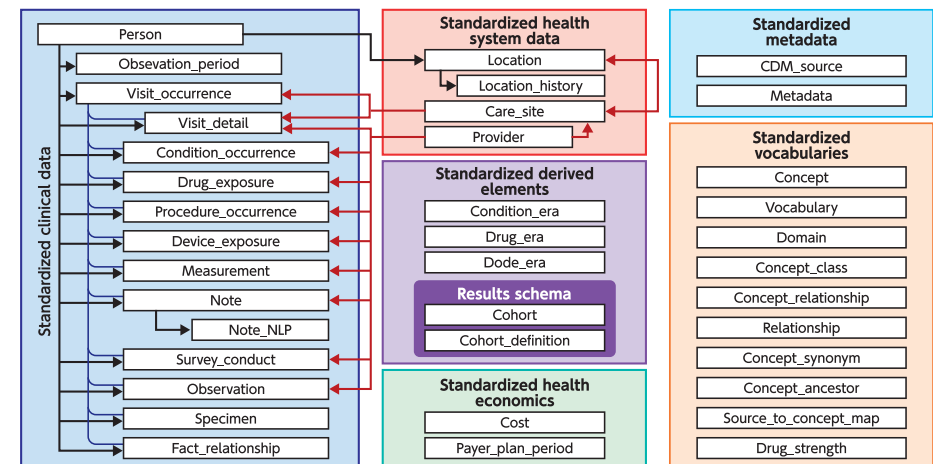
FHIRバルクデータの一括エクスポートを
コーディネート!

Bulk FHIR Coordinator

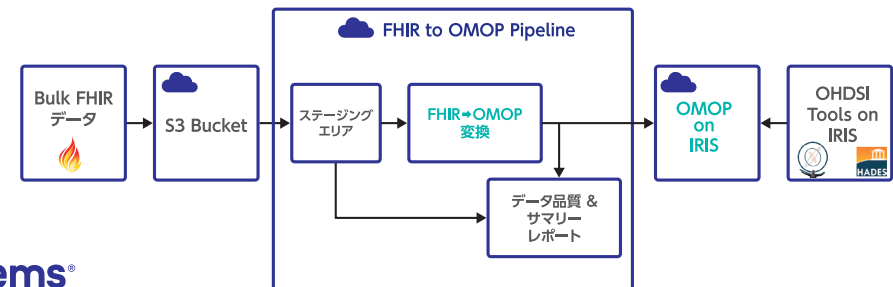


■ OMOP CDMとは Observational Medical Outcomes Partnership Common Data Model

医療データを構造と語彙の両面で標準化し、統一的に扱えるようにする**共通データモデル (CDM)**。
複数の施設や国をまたいでデータを統合・比較・分析するための国際的な枠組み。
主に研究・医薬品の効果検証・医療AI等に使われる。



InterSystems OMOP Solution on Cloud



InterSystems Cloud Services



<参考出展>

InterSystems IRIS Managed Service

IRISの全機能を利用でき、AWS環境で動作する運用監視、高可用性、災害復旧フルマネージドIRIS

InterSystems IRIS Cloud SQL

IRISのリレーショナルデータベース機能への直接アクセスを提供

InterSystems IRIS Cloud Document

IRISのドキュメントモデル機能への直接アクセスを提供

InterSystems Data Studio

統合されたデータと実用的な情報を提供するノーコード/ローコードのフルマネージドサービス

InterSystems Data Studio with supply chain module

IDSにサプライチェーンのデータモデルを組み込み

Track & Trace Service with Descartes MacroPoint

MacroPoint(Descartes社)の配送追跡情報を、InterSystems Supply Chain Orchestrator にリアルタイム連携

HealthShare Health Connect Cloud

大容量トランザクション処理、プロセス管理、および監視機能を提供する医療データ交換統合エンジン

InterSystems FHIR Transformation Service

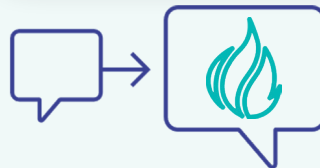
FHIR R4 リソースへの変換を自動化し、リソースをクラウドベースのデータリポジトリに格納

InterSystems FHIR Server

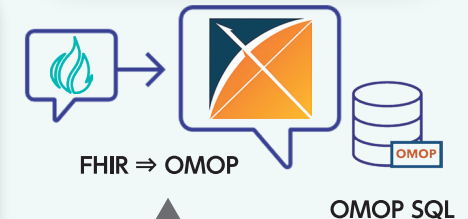
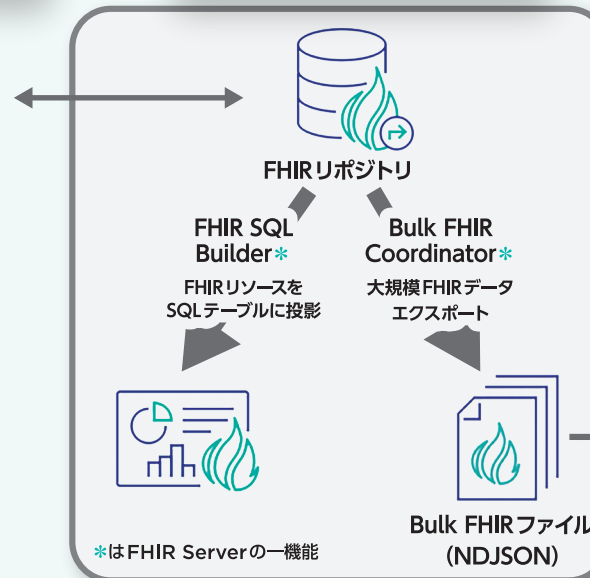
フルマネージド高機能&高性能FHIR サーバー / リポジトリ

InterSystems OMOP

FHIR⇒OMOP CDMの変換OMOPリポジトリサービスOHDSIツールとの連携が可能



HL7v2 / C-CDA / SDA3
⇒ FHIR



**FHIR Serverを中心とした
Healthcare Service 構成例**

医療デバイスモニタリングソリューション

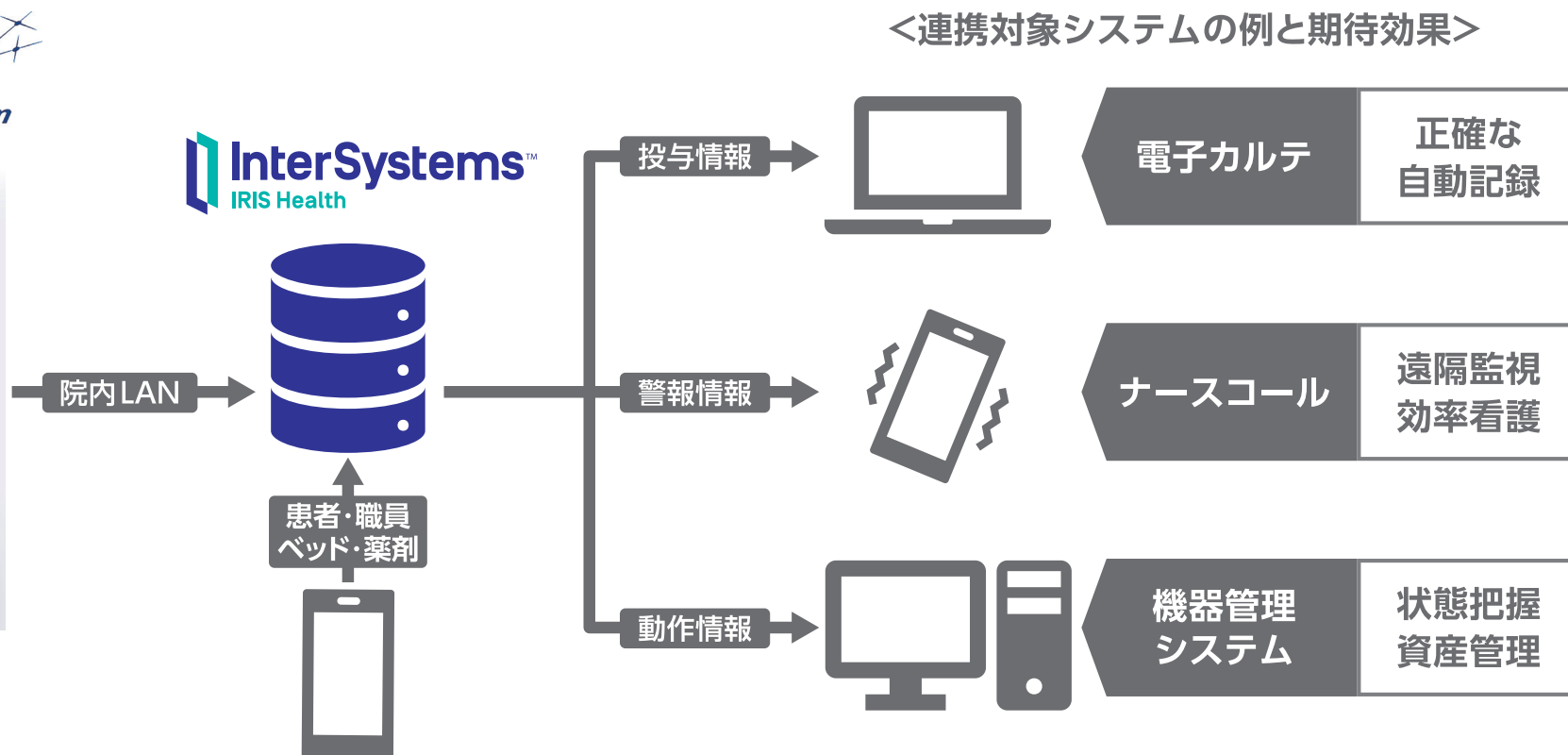


テルモ社製スマートポンプから、投与情報・警報情報・動作情報をIRIS Data Platformへ直接連携します。スマートフォン上のWebアプリで、ポンプからの情報に患者・ベッド・薬剤情報を紐づけることで、情報の価値を高め、さまざまな院内システムで活用できます。これにより、正確な記録、遠隔監視、資産管理を支援し、院内業務の効率化に貢献します。

Smart
Infusion System



輸液 / シリンジ
ポンプ



情報連携による効果のイメージ

～ 医療安全、医療従事者の働き方改革をサポート ～



病棟によっては数時間おきに点滴の記録をする必要があるが・・・
多忙で入力の後回しになりがち・・・



電子カルテ

- ✓ 流量、積算量が時刻情報とともに記録に反映
- ✓ 正確で遅滞ない記録を実現



個室のポンプの警報は聞こえにくい・・・
点滴が終わってナースコールを押されるけど、
本当は事前に対応したい



ナースコール

- ✓ セントラルモニタやスマホで「患者さん+警報内容」を把握
- ✓ 「終了3分前」などの情報により先回り対応も可能に



たくさんあるポンプの稼働状況を
管理したいが・・・



機器管理
システム

- ✓ ポンプの動作状況を監視
- ✓ 部署別の稼働率や警報傾向の解析、把握も可能

弊社の医療データ連携プラットフォームを活用した 日本のパートナーの製品やサービス

データプラットフォーム導入サービス

FHIRリポジトリ、FHIRファサード構築サービス

病院向け電子カルテシステム

クリニック向け電子カルテシステム

DWH

統合DWH

医事会計システム

地域医療連携システム

臨床検査システム

バイオバンク支援システム

アラートシステム

ME 機器管理システム

健診システム

統合ビューア

服薬指導システム

リハビリシステム

輸血管理システム

患者ナビゲーションシステム

医薬品在庫管理システム

など

赤文字・・・SIサービス

医療データに強いデータプラットフォーム



パートナー様にてアプリケーション/サービスをIRIS for Health上に実装し
医療機関様に提供



お客様を最も大切にする会社

InterSystemsについて

1978年設立 ソフトウェア会社

10億件

グローバルで管理する健康記録

2/3

インターシステムズが管理する
米国の患者記録数

100%

US News&Report Honor Roll
インターシステムズの顧客



本社：米国マサチューセッツ州
グローバルで 38 拠点



従業員：2550 人 (2025年末)
パートナー数：1600 以上



株式非公開
無借金経営



日本法人：2003年設立
東京・大阪 に拠点



設立以来
45年以上継続的に成長



ヘルスケアITの
世界的リーダー

国際モダンホスピタルショウ 2026 ブースプレゼンテーション

AIは、データ戦略から。ー医療データ基盤が、AI活用の成否を決めるー

7月8日(水)		7月9日(木)		7月10日(金)	
12:30 -12:45	医療AIを実現させるために ～ 責任あるAIを支えるデータ基盤と、AI HubによるエージェンティックAI ～ インターシステムズジャパン株式会社 ソリューションアーキテクト 鶴浦 永光	11:00 -11:15	医療DXの実現に向けた IoT・RFIDソリューションのユースケースとデータ利活用 TOPPAN株式会社 情報コミュニケーションBU IoTソリューション事業部 事業開発統括本部 統括 岡 正俊 様	11:00 -11:15	医療AIを実現させるために ～ 責任あるAIを支えるデータ基盤と、AI HubによるエージェンティックAI ～ インターシステムズジャパン株式会社 ソリューションアーキテクト 鶴浦 永光
13:00 -13:15	二次利用を加速するOMOPと合成データ 愛媛大学 大学院 医学系研究科医療情報学講座 教授 兼 医学部附属病院 医療情報部 部長 木村 映香 様	11:30 -11:55	AI Agentの活用と医療DXの進化- 生成AIとセキュリティのガバナンスの重要性 - 医療AIプラットフォーム技術研究組合(HAIP) 理事長 宇賀神 敦 様 医療現場がもっと安心につながる社会の実現をめざす "Digital Trust Grid" ! 株式会社AIHOBS 開発本部長 金子 誠暁 様	11:30 -11:45	InterSystems IRIS for Healthを活用したデジタルヘルスソリューション ～ 医療機器アラームマネジメントと病床管理 ～ 日本光電工業株式会社 事業戦略本部ソリューション事業推進部 企画二課 リーダー 尾高 健 様
13:15 -13:30	～ FHIR×OMOP CDMで広がる医療データの価値 ～ InterSystems OMOP のご紹介 インターシステムズジャパン株式会社 セールスエンジニア 古園 知子	13:30 -13:45	いまさら聞けない『相互運用性』InterOperabilityとは何か? HealthShareのコアであるSDA技術 群馬大学 医学部附属病院 システム統合センター 副センター長、准教授 鳥飼 幸太 様	13:00 -13:15	蒲郡市民病院が歩み出す内製化DX2.0 ～ 統合データ基盤(IDF)とローカルLLMが拓く、多目的かつ高度なAI活用への挑戦 ～ 蒲郡市民病院 デジタル医療推進室/ デジタル推進監 / 飯田 征昌 様 (株式会社ホスピタルインテリジェンス 取締役)
14:00 -14:15	Global Health Data Spaceへ：世界各地域での挑戦 日本IHE協会 副理事長 接続検証委員長 堀川 康成 様	14:00 -14:15	OMOPが拓くリアルワールドデータ活用 ー 医療データ標準化の最前線 ー 九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター 山下 貴範 先生	13:30 -13:45	システム間の連携データをつかまえる! :Health ConnectとIRIS for HealthによるリアルタイムDWH構築の試み がん研会有明病院 医療情報部 副部長 データベース開発室 室長 鈴木 一洋 様
14:15 -14:30	HospitalLake® ～ 医療データを使える形に。現場で活かし、成果へつなげる ～ 合同会社デロイトトーマツ COU LS&HC ディレクター 北原 雄高 様	14:15 -14:30	～ FHIR×OMOP CDMで広がる医療データの価値 ～ InterSystems OMOP のご紹介 インターシステムズジャパン株式会社 セールスエンジニア 古園 知子	14:00 -14:15	PHRと地域医療連携システムを活用した情報共有の提案 ー 研究と実践の融合 ー 東北大学大学院 医学系研究科 医学情報学分野 教授 中山 雅晴 様
15:00 -15:15	ミドルウェアで実現した働き方改革の推進 ～ コスト算定から医療DXまで ～ 千葉大学医学部附属病院 土井 俊祐 様	15:00 -15:15	医療AIX (AI+DX) の社会実装 AI-Ready Dataを起点に、IRIS・MIG・ANDYで 医療サービスへつなぐ 学校法人 藤田学園 理事長補佐・CTO 森川 富昭 先生	14:30 -14:45	医療安全、医療従事者の働き方改革をサポートする InterSystems IRIS for Healthを使用したスマートボンブ連携のご紹介 テルモ株式会社 メディケーションマネジメントグループ デジタルソリューションチーム 藥原 雄希 様 インターシステムズジャパン株式会社 皆本 稔彦
15:15 -15:30	「いつもの書き方、いつもの話し方」に生成AIが合わせる。 ー[カルテMan・GO!]の構造化データが実現する、現場に寄り添う医療文書・音声入力AI[Aldoc]ー AICRO株式会社 代表取締役CEO 山口 太一 様 株式会社コア・クリエイトシステム 宮崎本社営業部課長 長谷川 義学 様	15:30 -15:45	「いつもの書き方、いつもの話し方」に生成AIが合わせる。 ー[カルテMan・GO!]の構造化データが実現する、現場に寄り添う医療文書・音声入力AI[Aldoc]ー AICRO株式会社 代表取締役CEO 山口 太一 様 株式会社コア・クリエイトシステム 宮崎本社営業部課長 長谷川 義学 様	15:00 -15:15	CANON電子カルテソリューション「HAPPY ACTIS」ご紹介 キヤノンITSメディカル株式会社 ヘルスケアIT事業部 第一ソリューション本部 営業部 営業第二課 課長代理 長谷川 智之 様/張替 勇樹 様
15:45 -16:00	医療情報活用の事例ご紹介 ～ 医療情報連携プラットフォーム ～ TISI株式会社 医療ソリューション事業部 医療ソリューション戦略統括部 上級プロフェッショナル 糸藤 一郎 様	16:00 -16:15	CANON電子カルテソリューション「HAPPY ACTIS」ご紹介 キヤノンITSメディカル株式会社 ヘルスケアIT事業部 第一ソリューション本部 営業部 営業第二課 課長代理 長谷川 智之 様/張替 勇樹 様	15:30 -15:45	医療DXの実現に向けたIoT・RFIDソリューションの ユースケースとデータ利活用 TOPPAN株式会社 情報コミュニケーションBU IoTソリューション/事業部 事業開発統括本部 統括 岡 正俊 様
16:15 -16:30	医療データと対話する時代へ ー HealthShare Unified Care Record × HealthShare AI Assistant インターシステムズジャパン株式会社 シニアソリューションアーキテクト 上中 進太郎	16:30 -16:45	医療データと対話する時代へ ー HealthShare Unified Care Record × HealthShare AI Assistant インターシステムズジャパン株式会社 シニアソリューションアーキテクト 上中 進太郎	16:00 -16:15	HospitalLake® ～ 医療データを使える形に。現場で活かし、成果へつなげる ～ 合同会社デロイトトーマツ COU LS&HC ディレクター 北原 雄高 様

ブースプレゼンテーションは、一部を除き、後日 インターシステムズホームページおよび公式YouTubeチャンネルでご覧いただけます。
<https://www.intersystems.com/jp/hospital-show-2026-presentation/>
<https://www.youtube.com/@InterSystemsJapan>

InterSystems HP



YouTube

